

今月の  
テーマ

## 金融リテラシー “投資編”

皆さんの保有する金融資産の内訳はどうなっているだろうか…!?

日本人は預金大好き人間で、多くの部分を預貯金で保有しているようで、2020年8月の日本銀行調査統計局の調査によると、日本の家計の金融資産構成を見ると、預貯金が54.2%を占め、アメリカの13.7%を大きく上回り、欧米諸国の中でも際立っている。

バブル期などにあっては預貯金であっても、100万円預けると4～5万円の利息が付くのは当たり前だった時代で、それなりの利回りが期待できたものである。それが、今や100万円預けても100円も付けばいいところで、“馬鹿にすんなよ”と言いたくなる。ならば“投資でも”と思いつつ、多くの方が身構えてしまっているのが現状だ。他の国では投資信託や株式などによる資産運用が定着している一方で、何故に日本では投資性の商品が普及しないのだろうか?

欧米などでは、教育の一環として投資や資産運用を学ぶ機会があるが、日本の学校教育にお

いては、そういう機会がほとんど無いことも要因の一つだ。日本での高度経済成長下では、長きに渡り「年功序列給与」や「終身雇用」が続き、“給料は右肩上がりで上がるるもの”との安心感から、将来のお金に関して心配をする必要が無かつたのかもしれない。しかし、現代の日本では、長引く経済の低成長、低金利、少子高齢化による人口ピラミッドの構造の変化、年金・健康保険制度の崩壊など、将来への課題は少なくない。

今や、多くの人が将来のお金について不安を抱えている。その不安を解消するためにも、長期にわたる投資(=資産運用)が推奨されており、金融庁は株式や投資信託などによる資産運用に対して、「NISA」や「iDeCo」などの税制優遇措置を講じてはいるものの、その伸びは鈍い…!?

資産運用は避けて通れない筈だが、“な~んでか”…。やっぱり、金融リテラシーだよなあ…。

Vol. 145

# 生活 知恵袋

生活に  
何かと役立つ  
連載コラム



齋藤 廣勝

(さいとう ひろかつ)

株式会社  
トータルライフサポート代表取締役

- ・CFP®サーティファイドファインシャルプランナー
- ・1級ファインシャルプランニング技能士
- ・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
- ・住宅ローンアドバイザー
- ・金融広報アドバイザー

投資とは何ぞや!?

最近、「口オナ禍」にあって少額のブチ投資家も出てきたようだが、そもそも投資とはなんだろうか?

【投資とは】

一般的な解説を見ると、投資とは、利益を見込んで自己資金を投じることである。例えば、利益を期待して投資信託や株式などを購入することが投資にある。そして、投資は銀行の預貯金とは異なるため、期待できる利益が確約されているものではない。

「元本の保証はありません」元本割れの可能性があります」と聞いただけでアレルギー反応を起こしてしまい、私は結構“とシャツターを開させてしまつ方が多いのが現状だし、それどころか、投資はギャンブルのようなものとの認識を持つ人も少なくない。違ひんだけど…。

投資という用語は、資産運用に使われているだけではない。皆さんも大なり小なり「自己投資」を行っているはずだ。

自己投資とは、将来より大きな利益を生むことを目的として、今の自分の価値を高め成長させるために、自らにお金や時間をかけることを意味する言葉だが、その種類は「身体能力の向上」、「健康増進」、「美容」、「資格取得」、「知識や情報の取得」、「新しい事への挑戦」などがある。

自己投資には、お金や時間を費やすなければならないが、その成果は

## 保険と暮らしの相談センター

あなたの夢の実現へのお手伝い!  
相談メニュー

- ✓ 家計の総合診断(ライフプラン)
- ✓ 保険加入・見直し(生命保険・損害保険)
- ✓ 住宅取得、住宅ローンの見直し
- ✓ 子どもの教育資金計画
- ✓ 年金・老後資金計画

相談料は  
無料です!!

TLS

total life support

募集代理店

株式会社  
トータルライフサポート

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22

●営業時間／9:30～18:00(土・日・祝9:30～17:00)

●定休日／水曜日

TEL 018-827-7611

Fax 018-827-7610

URL <http://tls-akita.co.jp>



詳細はホームページでもご覧いただけます。



すぐに得られる訳ではないし、得られないかもしない。皆さんも大なり小なり、これまでに成果を得られなかつた自己投資もあるに違ない…。もしかして私だけ…!?

そういう意味では、資産運用と同様に元本の保証はないし、元本割れをきたすかもしない。また、それに向かう姿勢や努力の仕方にようては、資産運用よりもリスクが高くなる可能性もある。どちらにしても、将来得られる利益や成果が自己責任であるといふことは変わりはない。

「虎穴に入らずんば虎児を得ず」。危険を避けていては、大きな成功も有り得ないといったことのとえが、皆さんの資産運用・自己投資はいかがだらうか?

### 投資の位置づけ

現在は超低金利の時代が続いており、銀行などにお金を預けていても利息はほとんど得られないのが現状だ。投資家としては、利益を生まない現金をそのまま保有しても、利益を生む機会の損失であり、実に勿体ない。

トコロでは、投資ありきという位置づけではなく、投資を知ることにより、「これなら自分にも」という理解が生まれることで、食わず嫌いの機会損失から一步踏み出し、有効な資金の活用に繋がればと考えている。投資は怖いものではないし、もちろんヤンブルでもない。社会経済における、「**当然なこと**」だと

いうことを先ずは知つていただきたい。また、投資における金融リテラシーを身に付けることにより、運用成果も然ることながら、社会経済の一員であるとの自覚も芽生えてくることを期待したい。投資を家計のやりくりと収支の中の一部分として、万人が利用できるものとして位置づけたいものだ。

### 投資を始めるにあたっては、投資

商品の仕組みや一定の知識を必要とする」とは勿論だし、その情報収集に一歩踏み出していくだけ。始めるにあたっては、自身での学習はもとより、金融機関やFP(ファイナンシャルプランナー)などの外部知見を利用するのも重要だ。

投資を始めたところでは、「金融リテラシー」においては諸外国よりも低い傾向にあり、意識的な取り組みが必要となってくる。また、「金融リテラシー」だけではなく、「情報リテラシー」、「アーティリテラシー」なども避けては通れない時代と言えるだらう。

「いつ」ことを先ずは知つていただきたい。また、投資における金融リテラシーを身に付けることにより、運用成果も然ることながら、社会経済の一員であるとの自覚も芽生えてくることを期待したい。投資を家計のやりくりと収支の中の一部分として、万人が利用できるものとして位置づけたいものだ。

けむ」とある。そういう努力をしても判断に迷うときは、外部見学者(専門家)を利用することである。

これまで何度も「金融リテラシー」を身に付けることの重要性を説いてきたが、改めて「リテラシー」そのものを考えてみよう。

しかし、投資信託の分配金や株式の配当金については、投資する会社の業績や、投資信託の運用の成績によつて金額が変動する」ともある

点は押さえておきたい。

【キャピタルゲイン】

価値が変動する資産を「売買」することで得られる収益のことを指す。いわゆる、安い時に仕入れて高い時に売ることで得られる利益と同じなのだ。

【キャピタルゲイン】

投資信託や株式、不動産、仮想通貨などの売買で得られる収益がキャピタルゲインで、株価を例にするところ、30万円のときに購入した株式を35万円で売却した場合、差額の5万円がキャピタルゲインにあたる。いわゆる、安い時に仕入れて高い時に売ることで得られる利益と同じなのだ。

【インカムゲイン】

株式や債券などの資産を保有し続けることで得られる収益のこと

で、株式では配当金、債券では利子、不動産では賃貸することによ

り得られる家賃収入などが「インカムゲイン」に当たる。配当金や利子などは、それぞれ支払われる時期が決まつてゐるため、インカムゲインを得るために、その時期に資産を保有している必要がある。

【アーティリテラシー】

投資信託の分配金や株式の配当金については、投資する会

社の業績や、投資信託の運用の成績によつて金額が変動する」ともある

点は押さえておきたい。

【キャピタルゲイン】

価値が変動する資産を「売買」

することで得られる収益のことを

指す。いわゆる、安い時に仕入れて

高い時に売ることで得られる利益

と同じなのだ。

【インカムゲイン】

株式や債券などの資産を保有し

続けることで得られる収益のこと

で、株式では配当金、債券では利

子、不動産では賃貸することによ

り得られる家賃収入などが「インカム

### 投資の損失を回避する

誰だつて損失は回避したいし、仮に失敗したとしても好き好んで失敗したわけではない筈だ。では、その損失は防げなかつたのだろうか?

殆どの結果にはそれなりの理由が存在し、回避してきたであろう

事例も少なくない。もちろん、不測かつ突然的な事象によるものもあるだろうが、それだとしても損失を予測し、軽減策を講じることもできたかもしない。損失の背景には、情報や知識を持たないまま投資に乗つたり、中には悪意のある詐欺まがいの勧誘にハマつた事例もある。では、どうしたら回避・軽減が出来たのだろうか?

投資によって得られる収益には、「インカムゲイン」と「キャピタルゲイン」の全く異なる二つのタイプがあり、投資手法もリスクの態様も大きく異なるため、それぞれの違いを知つておくことが重要なだ。

### 投資の収益

投資によって得られる収益には

【キャピタルゲイン】

「情報リテラシー」、「アーティリテラシー」なども避けては通れない時代と言えるだらう。

投資によって得られる収益には、「インカムゲイン」と「キャピタルゲイン」の全く異なる二つのタイプがあり、投資手法もリスクの態様も大きく異なるため、それぞれの違いを知つておくことが重要なだ。

### 来月号は

引き続き「金融リテラシー」としての、生命保険を考えよ。

株式や債券などの資産を保有し続けることで得られる収益のことで、株式では配当金、債券では利子、不動産では賃貸することにより得られる家賃収入などが「インカム